

開削調査カルテ (11)

⑩. SP103.9-50.8 ふくれ 平成13年度調査



表面状況 5 cm程上にピンホール有り



厚さ8 cm程で採取 下部混合物は健全



層内の状況確認のため切断



ピンホール部分断面  
ピンホール下部に空隙が存在



膨れ部分断面  
直径4 cm程の空洞が存在

項目	状況
測点	SP103.9-50.8
損傷種類	ふくれ
ジョイントからの距離	60cm
剥離面深さ	深さ8.0cmで混合物が破壊した。
剥離面水分	無し
剥離面骨材のAs剥離	破壊面の混合物は健全である。
供試体内部状況	直径4.0cmの空洞が存在している。空洞周辺に微少な空隙が散在している。
損傷進行深さ	5.0cm

開削調査カルテ (12)

⑫. SP97.0-55.0 クラック 平成13年度調査



表面状況



表面から2cm程泥が入っている



深さ5cm程度に空洞が存在



深さ7cmまで混合物は湿潤状態



損傷幅は10cm程度

項目	状況
測点	SP 97.0-55.0
損傷種類	クラック
ジョイントからの距離	20cm
剥離面深さ	深さ7.0cm
剥離面水分	有り
剥離面骨材のAs剥離	As剥離が進行している。
供試体内部状況	深さ6.0cmに空洞が存在している。As剥離が進行している。
損傷進行深さ	7.0cm